

太陽黒点観測報告

2018年 1月

観測者 : 村上昌己

1) 概況

今月は関東南部では、冬型の晴天傾向が続いて観測日数は27日間となった。とはいえシーイングは不良で、天気は変わりやすく、ときどきの気圧の谷の通過では曇天になった。低気圧は日本海北部を通ることが多く、南風が吹いて中旬には寒中と思えないような暖かさとなった。一転して22日には南岸低気圧の通過で関東では雪となって、当地でも15cmほどの積雪となった。その後は寒波の襲来で晴天傾向になったが、寒い日が続いた。

黒点活動は低調で、南北ともに小型群が見られたただけであった。下旬からは全面無黒点日が月末まで続いた。南半球に出現した高緯度群は、SOHOサイトのマグネットグラム画像からの判断では、新しいサイクルの群ではなかったと思われる。

今期は第2199周期の観測だった。私の所では、北半球に1群、南半球に3群の新しい黒点群を観測した。

2) 日別観測記録

Table with columns: 日付時刻 (Date JST), 北半球 (N. Hemisphere), 南半球 (S. Hemisphere), 全面 (Whole Disk), 中心帯 (Central Circle Z), 相対数 (Relative Number), 視相 (Seeing), 肉眼黒点群 (Group observed by the naked eye), 天候 (Weather). Rows list daily observations from 01 to 31.

合計 3 7 8 25 11 32 4 16 142 56 -- (-- / 0日)

相対数(10g+f) 37 105 142 56
日平均相対数 1.3 3.8 5.1 2.0
相対数活動比 26.1% 73.9% 39.4
相対数前月比 -83.5% +316.7% -43.0% -66.1%
日平均相対数修正値 (k=0.6) 0.8 2.3 3.0 1.2

観測日数 27日

観測地 : 神奈川県横浜市泉区和泉中央北 (北緯 35°25.2' 東経 139°29.4')

使用機器 : 10cm屈折望遠鏡 (f=1200mm) 48倍 15cm投影、80倍、96倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント
** 8cm屈折望遠鏡 (f= 910mm) 51倍 15cm投影、73倍、100倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント

3) 黒点群活動表

略語表

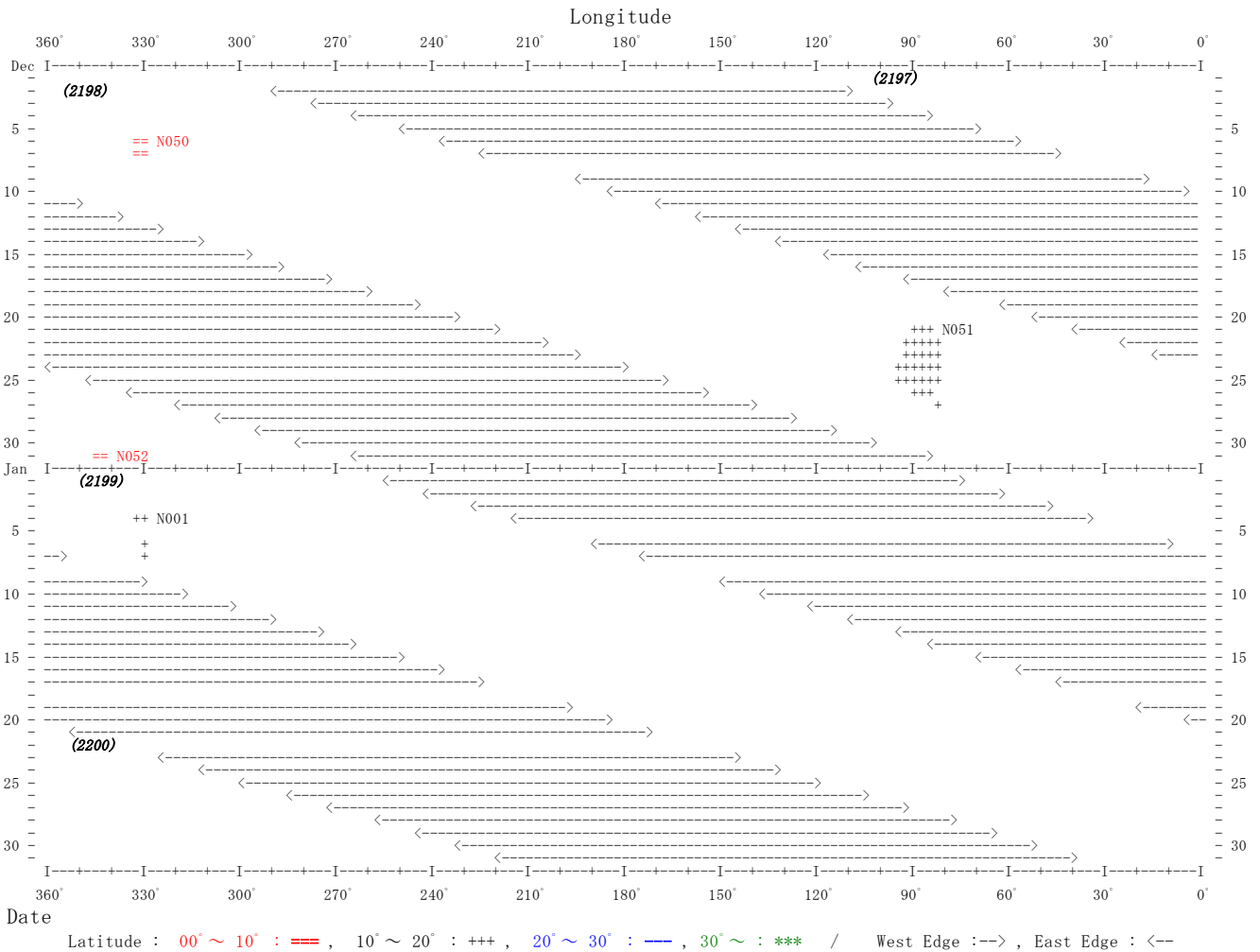
e: East hemisphere; w: West hemisphere; c: Center;
 a: Appear; d: Disappear; o: Outbreak; l: Lose;
 */_ : Visible to the naked eyes; uk: UnKnown; x: Not find; (p): penumbra

北半球

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面 緯度 Lati.	太陽面 経度 Longi.	観測 初日 F.Obs.	観測 中央通過 C.M.P	観測 期間 末日 L.Obs.	活動状況 Before C.M. Passage	活動状況 CMP	活動状況 After C.M. Passage	
Ro.#	NOAA	Murakami					- - - - -	: - : -	- - - - -	
2199	12693	N18001	N17-20	330-332	Jan 04	--	07			wo A5 - A1 a1 - w1?

Sunspot Drift-Chart 2017 December ~ 2018 January

北半球 Northern hemisphere

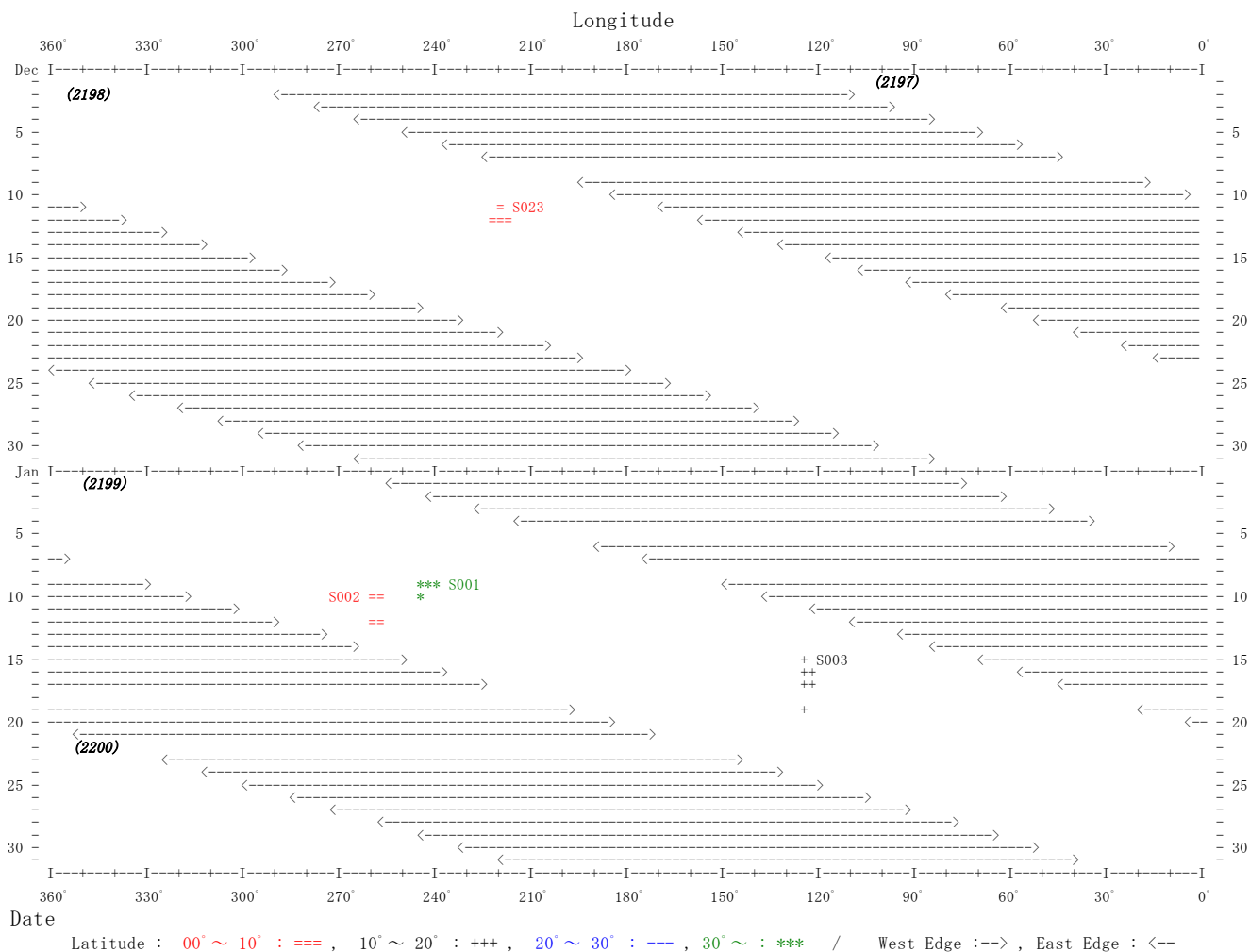


南 半 球

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面 緯 度 Lati.	太陽面 經 度 Longi.	観 測 期 間 初日 中央通過 末日 F.Obs. C.M.P L.Obs.	活 動 状 況 Before C.M. Passage :CMP: After C.M. Passage
2199	12694	S18001	S31 241-244	Jan 09 -- 10	co? - C3 A1 w1
2199	12695	S18002	S07-08 257-260	10 -- 12	wo A3 x a3 w1
2199	12696	S18003	S09-14 122-125	15 18 19	eo A2 A6 J5 :- :A2 w1

Sunspot Drift-Chart 2017 December ~ 2018 January

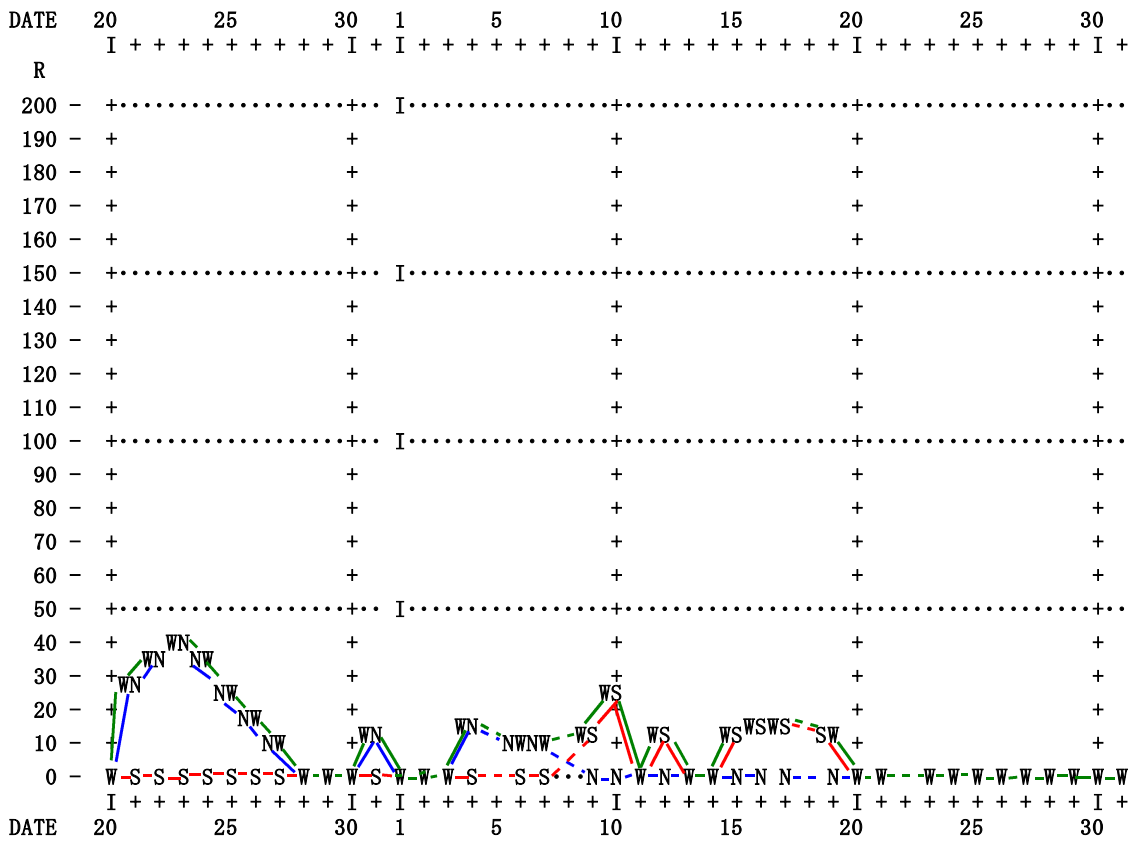
南半球 Southern hemisphere



4) 南北別相対数日変化図

R (k=1.0) W:全面 N:北半球 S:南半球

2018 January



5) 前年からの月別相対数変化図

平滑化曲線は、13ヶ月移動平均曲線。2017 Julyまでの値が今月までの観測を反映している。

